

# W3C TPAC2015報告

2015年12月3日

# TPACとは

- W3C(World Wide Web Consortium)の年1回開催の技術総会(W3C Technical Plenary / Advisory Committee Meetings Week)
  - W3C:Web技術の標準化と推進を目的とした会員制の国際的な産学共同コンソーシアム
  - 水曜日のPlenary Day(全体会合)を挟んで、一週間にわたり技術ワーキンググループ等の標準化会合を開催
- 2015年は札幌で下記の通り、開催(日本開催は初)
  - 開催期間:2015年10月26日(月)~30日(金)
  - 場所:札幌コンベンションセンター
  - 参加(登録)者数:580名程度
  - 通常の技術会合に加えて、デモ会場で会員企業によるデモンストレーションも実施(サイネージ、テレビ、Web of Things、自動車関連等)
- 日本が主導するWebと連携したデジタルサイネージの表示技術・配信技術に関して、Web-based Signage BG等の技術会合での議論を進展させ、標準規格化に向けたWG形成の合意を獲得することを目標に設定

# サイネージに関する取組結果

- Webベースサイネージに関するWG設立に向けた合意形成
  - 事前議論(BGのMLにて) : サイネージ向け要件と必要とされるブラウザAPIについて問題提起し、標準化を推進するためのWG設立を提案
  - Breakout session 会合 : 「Requirements for Embedded Browsers needed by Web-based Signage」という会合を主宰し、サイネージ向け要件を満たすAPI案に関する既存WGでの議論状況を、幅広い参加者を得て確認
  - Web-based Signage BG 会合 : BGメンバを中心に、新たにWGを設立して勧告化を目指すAPI選定に関する議論を展開
- Webベースサイネージ実用性のアピール
  - TPAC会場内の案内サイネージ(参考1)をWebベースで実現
  - 標準化に向けたユースケースや機能要件の具現化により、W3C内でのWG設立に向けたコンセンサスに貢献
- 「訪日外国人へのおもてなし」の観点等でもユースケース, 機能要件等に関連するヒアリングの実施
  - 日本会員企業からのデモ展示を含め懇談会要件に関するデモンストレーションを実施し、海外からの参加者を中心にヒアリング(参考2)

# 案内サイネージ

サイネージスポンサ(NTT、ニューフォリア、ソニー、東芝、パナソニック、三菱電機)が協力して、会場設備として会場内5ヶ所に設置



一斉配信、スマートフォン連携



マルチディスプレイ同期

コンテンツ協力: 札幌市



多言語対応

コンテンツ協力: 北海道テレビ



マルチキャスト映像配信

# デモ展示来場者反応(外国人の方)

コンテンツ	主なコメント	あるべき姿
災害情報の一斉配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動先や家に帰れるかどうかの判断情報が迅速に入手できれば良い。</li> <li>・そもそも地震を体験した事がない。災害が起きた時にまず何をすべきか教えてほしい。</li> <li>・どのような災害が起きているか(種別やレベル)を的確に表示されると良い。</li> <li>・スマホに配信し、それを見ながらGPSで避難できるとよい。</li> </ul>	状況を踏まえ自身の次のアクションに役立つ基本的な情報提示が必要
個人属性に応じた最適情報配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かざすだけで自身にあった情報(言語やハラル、訪問先ルート等)が簡単に引き出せるので便利。</li> <li>・多数の日本語の中での困難な情報検索から解放されるので良い。</li> </ul>	不慣れな日本での情報入手の煩雑さから解放し、自身に役立つ最適情報の提供
多言語コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関の利用方法やレストラン情報(ハラル等)、ニュースなどの多言語化要望。</li> <li>・異なる複数人が言語選択した場合の画面切り替えやスマホ誘導など要検討。</li> </ul>	外国人にとって必要・伝達すべき情報の多言語化 サイネージとスマートフォンの役割明確化